

「市民みんなの力」で「当たり前前の幸せ」を!!



4年前に、多くの市民に支えられ松阪市長となった私は、こう決心しました。

- ①特定の業界・団体とのしがらみを排し市民目線の改革を推進すること
- ②住民協議会をつくり「市民の力」「地域の力」を発揮してもらうこと
- ③カタチだけでない「市民の本当の声」を現場でしっかり聞いていくこと

地域の皆さんと改革を進める中で、「税金がムダに使われない」「いのちを守り子育てのしやすい」地域づくりが活発な松阪市になってきました。

あと4年。松阪市の「市民改革」をさらに進めなければならないのです!

山中光茂は、松阪市長として4年前の皆さんとの〈約束〉を実現しました

- 借金額を減らしました…抜本的な財政改革で市の借金額を90億円減らしました
- 市民の健康と「いのち」のために…松阪市民病院を大改革し、3期連続黒字化達成
- 地域の高齢者をみんなで支える…「認知症サポーター」11,000人の育成
- 子どもの「いのち」を最優先に守るため…中学校3年までの医療費無料化を実現
- 女性の「いのち」を守るための…「乳がん・子宮頸がん検診率」を大幅アップ達成
- 保育施設を充実させました…400人以上の待機児童を解消しました
- 市民と職員が汗を流しました…住民協議会を市内43地区全てに設立しました
- 産業の活性化…全国の多くの企業と連携することで、企業誘致や連携を推進

山中光茂は、今後上記の改革の成果をもとに〈さらなる改革〉を進めます

- 市民の意志とかけ離れている市議会の改革を進めます…報酬・定数削減を含めた、市民に寄り添う議会を創っていきます
- 長谷川邸を文化と観光の拠点として…日本橋と松阪をつなぐ豪商の歴史を、今に甦らせる施設の整備
- 子どもの未来ため…1円たりとも税金をムダにしない財政再建を続けます



プロフィール

昭和51年1月15日、松阪市大黒田町生まれ。小さいころは父のふるさと飯高町森地区の自然の中でよく過ごした。三重高、慶應大法学部、群馬大医学部卒業。医師としてケニアでエイズ撲滅のボランティア医療活動。平成21年に松阪市長に就任。マニフェスト大賞グランプリを受賞するなど、全国から注目を集める若手市長のひとり。被災地支援や官民連携によるブランド展開などでも手腕を振っている。平成24年には、スイスで開催された「2012ジュネーブ市長フォーラム」に、世界の20名の市長の一人として招待を受け参加した。



全国の自治体の政策実現を競い合うマニフェスト大賞で
首長部門グランプリを受賞

やまなか みつしげ

松阪市長候補

山中光茂 37歳

市民みんなで しがらみ市政に 戻させない

これが市民とともに実行した〈市民改革〉の成果です

次の世代への負担となる
 松阪市の**借金**が**90億円**減少!
 次の世代を守るための
貯蓄額を**40億円**積み上げ!

地域の高齢者を支える人材育成
 認知症サポーターの養成開始
 県下最大の

11,000人
 突破



「いのち」が
 一番大事

障がいのある方々をみんなで支える
 新しい療育施設の建設へ
 障がい者就職面接会や
 表彰制度の構築

子どもの未来と命は
 何より大事
中学3年生まで
医療費助成
 の大幅な拡大



認可保育園など
保育施設の充実
 400人以上の
 待機児童を解消



しがらみにまみれていた
 駅西再開発の見直し **1.8%** ▶ **22.4%**へ

100 億円規模の削減



市民と直接対話
数百回 にわたり
 地域で懇談
 地域の力を活かすシステム
 住民協議会 全43地区設立



重要な案件は必ず
意見聴取会を開催

住民と市職員が
 みんなで汗を流す
 スタートに



市民の声が直接市政を変えました
シンポジウム形式
 で地域住民の声を聞きました

市民の声を
市政に!



就任以来、
 市長の私も副市長も
 給与20%カット、
 ボーナス50%カットを
 続け、三重県下の市長で
 もっとも低い報酬で
 財政再建に
 取り組んでいます!



松阪市全域を住みやすく
 中山間部地域の
活カアツプを推進

ネーミングライツ導入
2000 万円の
 収益

談合体質を徹底排除しました
**新ゴミ処理
 施設建設**
150 億円の
 削減

企業誘致が大きく前進
 メガソーラー施設をはじめ
26 件の企業誘致



駅前
交流物産館の創設
 ブランドアドバイザーをつくり、市民も交えて
 観光戦略会議を開催

世界に誇る
松阪ブランド
 と観光の推進

ムダゼロ市政と
 もうける市政

松阪



全国の市町や企業と大連携
 ブランド振興、東日本復興支援、
 防災協力、まちづくりの活性化
 など
 松阪市が中心となり
全国のモデル
 となる連携事業を推進



ここまで進んだ〈市民改革〉を止めるわけにはいきません